

ご使用に際してこの説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

眼科用薬

# ペパール抗菌

◆ペパール抗菌は、細菌に有効なサルファ剤に加え、＜抗ヒスタミン成分＞クロルフェニラミンマレイン酸塩、＜抗炎症成分＞グリチルリチン酸二カリウム、炎症原因となる物質の産生を抑えるイプシロン-アミノカプロン酸を配合した点眼薬です。

## ①抗菌作用

サルファ剤のスルファメトキサゾールナトリウムは、細菌にすぐれた抗菌作用を示します。

## ②抗ヒスタミン作用

クロルフェニラミンマレイン酸塩は、目のかゆみをしずめます。

## ③消炎作用

2つの抗炎症剤グリチルリチン酸二カリウムとイプシロン-アミノカプロン酸は、感染時におこるかゆみなどの炎症症状をしずめます。



## 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

#### \* 1. 次の人は使用しないでください

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

#### 2. 長期連用しないでください



### 相談すること

#### 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 次の症状のある人。

はげしい目の痛み

#### \* 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
目	充血、かゆみ、はれ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

#### 3. 3～4日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 効能・効果

結膜炎(はやり目)、ものもらい、眼瞼炎(まぶたのただれ)、目のかゆみ

## 用法・用量

1回1～3滴、1日3～6回点眼してください。

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (2) 容器の先をまぶた、まつ毛に触れさせないでください。また、混濁したものは使用しないでください。
- (3) ソフトコンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- (4) 点眼用にのみ使用してください。
- (5) 用法・用量を厳守してください。

## 成分・分量

成 分	分 量
スルファメトキサゾールナトリウム	4.0%
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.03%
グリチルリチン酸二カリウム	0.25%
イプシロン-アミノカプロン酸	1.0%

添加物：ホウ酸、ホウ砂、ポリソルベート80、ベンザルコニウム塩化物、エドト酸Na

### 〈成分・分量に関連する注意〉

点眼後、ときに口中に、苦み又は甘味を感じることがありますが、これは有効成分のスルファメトキサゾールナトリウム及びグリチルリチン酸二カリウムが涙道を通して口中に流れ出てくるためで、品質などの異常によるものではありません。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限(外箱及びラベルに記載)をすぎた製品は使用しないでください。
- (6) 保存の状態によっては、成分の結晶が容器の点眼口周囲やキャップの内側に付くことがあります。その場合には、清潔なガーゼで軽くふきとって使用してください。

お問い合わせは  
テイカ製薬株式会社  
お客様相談係  
電話番号:076(431)8863[テイカ製薬(株)]  
受付時間:9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
☎0120-149-931

### おねがい

品質を保持するため高温下となる所に置かないでください。  
自動車の車内や暖房器具の近くなど、高温になる場所に放置すると容器が変形したり、薬液の品質が劣化することがあります。